

平成 29 年 12 月 15 日

若者定住専門部会

(賀茂振興局)

(要旨)

前回の賀茂地域広域連携会議以降、専門部会を3回開催し、検討の三本柱である「賀茂の子づくり」、「具体的な行動・推進装置づくり」、「利便性の高い窓口づくり」に関する具体化について検討・意見交換を行った。

また、「賀茂の子づくり」、「具体的な行動・推進装置づくり」の具現化策として、「Wikipedia Town in 下田小学校&白浜小学校」と「賀茂地域ではたらくのりもの大集合！」などを企画した。

1 専門部会の開催概要

- (1) 日 時 : 第4回 平成29年9月7日(木) 10時~12時
 第5回 平成29年10月5日(木) 10時~12時
 第6回 平成29年12月1日(金) 10時~12時
- (2) 会 場 : 静岡県下田総合庁舎

2 検討(実施)内容

<p>「賀茂の子づくり」 「具体的な行動・推進装置づくり」</p>	<p>①「Wikipedia Town in 下田小学校&白浜小学校」(11月3日開催) ・モデル事業として、下田市・下田市教委の協力を得て実施 ⇒今後、1市5町全体での取組み実施を検討</p> <p>②「高校生のKAMOマルシェ」(11月5日開催) ・賀茂地域の食材に触れ、食を通じて地域の良さを知る契機、職業体験として、賀茂地域4高校全てが参加し初開催 ⇒今後、継続化及び企画段階での高校生の参画等を検討</p> <p>③「賀茂地域ではたらくのりもの大集合！」(11月18日) ・実行委員会を組織し、企画立案。雨天中止となったが、地域の産業団体等のネットワークを構築 ⇒今後の催事企画について、改めて検討予定</p> <p>④「『地域の職業体験』の実施～高校生が労働の対価を得て地域定着志向へ～」 ⇒高校生が地域定住・定着を着想し、そのために何を身につけるべきか思考することに繋がるような職業体験として、協力企業・団体等を掘り起こし、マッチングを図ることができないか検討中</p>
<p>「利便性の高い窓口づくり」</p>	<p>①10月に導入を開始した「賀茂地域1市5町の基本情報」のパンフレット化 ⇒移住希望者の個別の相談に対応可能な先輩移住者等の顔写真付リストも取りまとめ、ホームページ掲載やふるさと回帰支援センターでの配架を検討</p> <p>②10月に導入を開始した「移住相談受付情報」の電子ネットワーク化 ⇒賀茂地域1市5町、県、ふるさと回帰支援センター及び将来の総合窓口(民間委託等)における電子ネットワーク化の検討。静岡県地域情報化コーディネータを招いた勉強会を開催予定</p> <p>③移住体験ツアー・セミナー・交流会等の共同実施 ⇒移住定住関連事業について、将来の総合窓口設置(民間委託等)を視野に入れた、共同実施を検討</p>

その他	<p>○新成人に対する任意アンケートの実施</p> <p>⇒高校卒業後の賀茂地域出身の若者が、最も集まる可能性のある機会に、現在の定住志向等を把握すること、また、今後の「賀茂の子づくり」の取組みの効果測定のため、実施を検討中</p>
-----	--

3 今後のスケジュール

時 期	項 目	内 容
平成30年1月中旬	第7回専門部会	「賀茂の子づくり」、「具体的な行動・推進装置づくり」について引続き具体化を検討
平成30年2月以降	今後調整	

賀茂地域における公共施設の共同利用等(FM)

資料 5

【課題】

- ・人口減少、少子高齢化（⇒需要の変化）
（賀茂地区
H29 66,438人 → H52 42,795人
高齢化率42%）
- ・公共施設の老朽化、修繕費用の増大
- ・厳しい市町財政、マンパワー不足(特に賀茂は顕著)

【国の動き】

- ・H25年11月
「インフラ長寿命化基本計画」策定
- ・H26年4月
全国自治体に対し、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請(H28年度中)

(H27～)

行政経営研究会FM部会

H28年度までに各市町が
「公共施設等総合管理計画」を策定
⇒ 今後は当該計画に基づき個別の議論へ

広域連携の希望
・必要性(特に賀茂)

支援

【現在までの取組】

- ・各市町「公共施設等管理計画策定」の支援
- ・施設情報の整理と共通フォーマット化
- ・公共施設情報の共有化、オープンデータ化
- ・県、市町におけるFM取組の情報共有 等

個別施設計画の支援段階において
広域連携の希望が出つつある

個別施設における広域連携の例

- ・施設の集約化(広域利用)
- ・施設の共同利用
(図書館の共同利用)
(域内住民共通割引) 等

(案) 賀茂地域広域連携
会議専門部会と2枚看板
にて検討・協議

賀茂地域監査事務連絡会議

(経営管理部市町行財政課)

(要旨)

平成 28 年度の監査事務の共同化専門部会において、「平成 29 年度以降も賀茂 6 市町の監査委員事務局間の連携強化を図っていくため賀茂地域監査事務連絡会議を設置し、引き続き連携する」ことの合意がなされ、昨年度末に第 1 回連絡会議を開催した。

平成 29 年度には、下記のとおり同会議を 2 回開催し、本年度の定期監査の重点事項や昨年度調製した賀茂地域共通の監査様式の活用状況等について情報共有や意見交換を行い、専門部会の成果の活用を図った。

【専門部会の成果の活用により得られた主な効果】

監査様式の共通化

- 全市町で共通様式を活用した監査を実施（監査水準の確保）
- 地域において共通で活用できる監査項目の仕様変更が容易（監査水準の向上）

連絡会議の設置

- 監査の重点事項等に関する定期的な情報交換の機会の確保

(連携体制の確立、課題意識の共有)

記

1 開催内容

(1) 第 2 回連絡会議の概要

日 時 : 平成 29 年 5 月 26 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分

議 題	意見交換・協議事項
平成 29 年度の監査計画及び重点事項等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員からの指示事項 ・ 重点事項として予定しているもの ・ 新たに取り組むことを予定している事項 などの情報共有

(2) 第 3 回連絡会議の概要

日 時 : 平成 29 年 11 月 6 日 (月) 13 時 30 分～15 時 30 分

議 題	意見交換・協議事項
平成 29 年度の定期監査の執行について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期監査の重点事項 ○ 共通様式の活用方法や改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査対象の主要事業の捉え方 ・ 様式の項目の記載事項の修正箇所 ・ 各市町固有の課題に関する意見交換 <p>⇒ 共通様式の修正事項は県でまとめ各市町に提供</p>

2 本年度の開催予定

3 月頃	第 4 回連絡会議の開催	・ 平成 29 年度の監査の実施結果等について
------	--------------	-------------------------

賀茂広域消費生活センターにおける平成 29 年度上半期の相談等の状況

(賀茂広域消費生活センター)

1 消費生活相談

平成 29 年度上半期における消費生活相談件数は前年度同期と比べ **1.3 倍** の 124 件、消費者被害の救済金額は約 **217 万円** であった。

(1) 相談件数（両年度とも4月1日～9月30日、相談者住所別）

年度	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他・不明	計	対前年度比
H29	46	12	8	21	15	12	10	124	131%
H28	30	15	9	14	11	7	9	95	—

(2) 年齢別相談件数【契約者】

年代	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	計
件数	3	5	8	18	28	31	25	6	124
割合	2.4%	4.0%	6.5%	14.5%	22.6%	25.0%	20.2%	4.8%	100%

(3) 主な消費生活相談

(太字は情報通信関係)

相談分類(※)	主な相談の概要	件数
放送・コンテンツ等	動画視聴等の架空・不当請求(24件)、アカウントの乗っ取り(1件)等	26件
インターネット通信サービス	インターネット接続の解約等(13件)、亡妻の会員解約(1件)、高額なセキュリティ料金の請求(1件)	15件
商品一般	覚えのない商品の請求(11件)、ネット閲覧中の突然の請求(1件)	12件
健康食品	定期購入となっていた健康食品の解約(3件)、茸粉末の返品(1件)	4件
化粧品	化粧品の返品(2件)、ボディソープの分析先問合せ(1件)	3件
相談その他	流出個人情報の削除(1件)、国際ロマンス詐欺(1件)、不審電話(1件)	3件
融資サービス	フリーローン・サラ金の多重債務(3件)	3件
その他	オレンジの訪問販売(2件)、 スマホの故障・修理(2件) 、倒産した会社の太陽発電の保守サービス(1件)、 注文した商品が届かない(4件) 等	58件
計		124件

※ 国民生活センターが定めている全国共通の分類に基づく(大分類)

(4) あっせん等による未然防止又は被害回復（相談者住所）

(単位：円)

区分	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他・不明	計
被害回復額	53,768	331,000		280,869	25,780	12,000		703,417
未然防止額	43,200	107,520	516,860	75,600	180,000	480,000	64,865	1,468,045
合計	96,968	438,520	516,860	356,469	205,780	492,000	64,865	2,171,462

2 その他の取組

(太字は今年度新規の取組)

区分	件数等	内容等
県民相談	82 件	相続関係、離婚関係、相隣関係等
消費生活出前講座	18 回	民生委員会、寿大学、老人クラブ、高校等にて実施 参加者延べ人数 731 人
街頭啓発	1 回	賀茂1市5町及び下田警察署と連携し、消費者月間に1回実施し、約 200 人に啓発チラシ・グッズ等を配布
見守りネットワーク構築	1 市5町	各市町の地域ケア会議のメンバーとなり、要支援者、要介護者等への見守りと消費生活相談に繋げる仕組の構築
啓発チラシの全戸回覧	1 回	最新の消費者トラブルの事例と対策に関する啓発チラシを、各市町を通じて全戸回覧
運営調整会議	1 回	センター関係者を構成員とする会議でセンター運営等を協議

平成 29 年度賀茂管内市町危機管理に関する課題解決に向けた取組

(賀茂振興局)

1 概要

賀茂振興局では、平成 28 年度、管内 1 市 5 町と連携して、危機管理対策について再点検し、課題の整理を行った。また課題解決に向けた対応を急ぐべき重点項目について、賀茂広域連携会議等の場で情報共有した。平成 29 年度は、県と各市町が連携して課題解決に向けた取組みを実施しているところである。現在までの進捗と成果は下記のとおり。

2 各市町の課題対応状況 (課題及び取組状況は太文字ゴシック)

(平成 29 年 11 月 30 日現在)

項目	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
本部立上げの体制確保						
①本部運営訓練の実施	○	○	課題：未実施 対策：H30 実施予定	○	○	課題：未実施 対策：H29 近隣町の訓練 視察後、訓練内容 検討
②訓練時要員の確保 (参集訓練)	○	○	○	○	○	○
③食料・水の備蓄 (7日分)	課題：水4日分不足 対策：H29 一部購入、 H30 追加購入し 完了予定	課題：7日分不足 対策：住民用備蓄食 料を共有	課題：7日分不足 対策：住民用備蓄食料 を共有	課題：4日分不足 対策：H29 一部購入、 H30 追加購入 し完了予定	課題：7日分不足 対策：H29 一部購入、 H30 追加購入し 完了予定	課題：水4日分不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入し完了予 定
④通信手段 ・防災行政無線 (デジタル) ・衛星携帯電話	○	○	○	○	○	課題：①デジタル化未対応 ②衛星携帯電話未整備 対策：① デジタル化検討中 【当面对応】H29 IP 無線機 90 整 備済(本部用 60 台、避難所・救 護所等 30) ②H29 1 整備済
本部施設の L2 津波対応	課題：本部施設 L2 浸 水域内 対策：①代替確保済 (非常用電源有) ②市庁舎移転 (浸水域外)	課題：本部施設 L2 浸 水域内 対策：代替確保済 (非常用電源有)	○ 浸水域外	○ 浸水域外	課題：本部施設 L2 浸 水域内 対策：代替地検討中	課題：本部施設 L2 浸水 域内 対策：代替地検討中
避難所運営体制の確保						
①指定避難所(災対法)の指定	△	△	課題：未指定 対策：落下防止対策・ 耐震性等確認 後指定予定	○	△	課題：未指定 対策：指定に向けて検討中
避難所数	40	17		6	9	
うち、L2 浸水域外	33	17		6	5	
うち、耐震 性(Ia, Ib) 有	25	16		6	3	
②開設マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○
③運営マニュアルの整備	△ (一部のみ、順次整備予定)	課題：未整備 対策：H29 県運営 マニュアルに 併せて整備	○	○	○	○
福祉避難所不足の対応	△ (温泉旅館組合と調整中)	△ (検討中)	△ (民間宿泊施設も含め検討)	△ (特養施設等検討中)	△ (H30 検討予定)	△ (民間宿泊施設も含め検討)
物資拠点運営体制の確保						
①拠点の指定	△ 耐震性なし	△ 浸水域内	○	○	○	△ 浸水域内・他候補地検討中
②運営マニュアルの整備	課題：未整備 対策：H30 年度以降策 定予定	課題：未整備 対策：H30 年度以降 策定予定	課題：未整備 対策：H30 年度以降策 定予定	課題：未整備 対策：H30 年度以降 策定予定	課題：未整備 対策：H30 年度以降策 定予定	課題：未整備 対策：検討中
物資拠点の L2 津波への 対応	○ 浸水域外 (他候補地検討中)	課題：役場駐車場 (浸水域内) 対策：民間施設の利 用検討	○ 浸水域外 (他候補地検討中)	○ 浸水域外	課題：松崎中学(浸水 域) 対策：他候補地検討中	課題：役場内(浸水域) 対策：他候補地検討中

項目	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
医療救護運営体制の確保						
①医療救護計画の策定	○	○	○	○	○	課題：未策定 対策：健康福祉課と医師会が協議中。H30 中策定予定
②救護病院の指定	△ 下田庁'イカ (L2 浸水域内)	○ 伊豆東部総合病院 熱川温泉病院	○ 伊豆今井浜病院	△ 下田庁'イカ (L2 浸水域内)	△ 管内5病院指定 L2 浸水域内(2/5)	△ 西伊豆病院 (L2 浸水域内)
③救護所の指定	○	○	○	○	○	△ L2 浸水域内(2/4)
④医療従事者との連絡手段の確保	課題：連絡手段無 対策：県 SNS 通信シフト活用検討	○ (防災行政無線貸与済)	課題：連絡手段無 対策：県 SNS 通信シフト活用検討	○ (H29 担当医師に防災行政無線貸与予定)	課題：連絡手段無 対策：県 SNS 通信シフト活用検討	○ (H29 救護所従事者予定医師に IP 無線貸与済)
⑤医療従事者との連携(協議)	○	○	課題：未実施 対策：検討中	○ (H29 救護所開設・運営訓練実施済)	課題：未実施 対策：健康福祉課と調整中	○ (H29 救護所開設訓練実施済)
L2 津波に対応した救護病院BCP策定への対応	課題：下田庁'イカ浸水域内 対策：-	○ 浸水域外	○ 浸水域外	課題：下田庁'イカ浸水域内 対策：-	△ L2 浸水域内(2/5)	課題：西伊豆病院浸水域内 対策：-
遺体処理体制の確保						
①遺体処理マニュアルの整備	課題：未整備 対策：今年度中策定予定	○	○	○	○	課題：未整備 対策：検討中
②遺体安置所の指定	○	○	○	○	○	課題：未指定 対策：検討中
③納体袋	課題：不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入予定	課題：不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入予定 経年劣化を踏まえ、協定事業所において調達、確保することを協議済	課題：不足 対策：H30 追加購入予定	課題：不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入予定	課題：不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入予定	課題：不足 対策：H29 一部購入、H30 追加購入予定
④関係機関との調整 ・警察、消防 ・医師会、歯科医師会 ・自主防災組織 ・葬祭業者	課題：未調整 対策：検討中	○	課題：未調整 対策：検討中	○	△ (業者と協定締結済)	課題：未調整 対策：検討中
安全対策マニュアルの整備	課題：未整備 対策：H29 以降策定予定	課題：未整備 対策：検討中	課題：未整備 対策：検討中	課題：未整備 対策：検討中	課題：未整備 対策：検討中	課題：未整備 対策：検討中
観光客 観光客避難対策	△ (津波メール(777)利用促進) (H29 避難訓練済)	△ (H29 避難訓練済)	課題：避難誘導標識不足 対策：H29 交付金事業対応	課題：①避難誘導標識不足 ②観光客受入 対策：①H30 交付金事業対応 ②観光協会等と連携	課題：観光客へ情報発信手段無 対策：SNS(ブログ)活用検討	△ (ホテルと協定締結済)

※ ○：策定又は実施済 △：一部実施済、見直し中、協議中